



協定書を交わした生徒と実習先事業者の代表者たち＝揖斐川町三輪、揖斐高校

揖斐高の就労体験実習協定 受け入れ3事業者と締結

揖斐川町三輪の揖斐高校は、同校普通科の3年生が年間を通して企業で就労体験をする「デュアル実習」の来年度の実習先企業とし

て、揖斐郡内の3事業者と協定を締結した。協定を締結したのは、いび川農業協同組合(同町)、農業法人のサポートいび

(池田町)、建設業の山辰組(大野町)。

実習は、同校のキャリア教育の一環として2015年度から実施。校内で希望者を募り、生徒が興味のある職種に合わせて、学校が毎年受け入れ先企業を探している。20年度は3人が応募し、年間20日ほど受け入れ先の就業時間に合わせて実習に取り組む。

締結式では、高橋由美子校長と3社の代表者、生徒が協定書に署名。サポートいびでの実習に臨む同科2年の清島有哉さん(17)は「農業の仕組みや社会人としてのマナーを、20日間でしっかり学びたい」と力を込めた。(柴田洋希)